

書道研究書苑会々長

追悼 鈴木静村先生

「学生書苑」のみなさん、とても悲しいお知らせを申し上げますね。十一月二十日午後六時より七時まで東京都調布市仙川会館にて通夜がいとなまれ、多くの人が焼香に参列されました。翌二十一日午前十一時三十分より午後一時まで告別式が行われ、前夜を上回る大勢の方々が会長先生とのお別れに焼香されました。以上、生前のご厚誼とご協力を深く感謝し、謹んでご報告申し上げます。

書道研究書苑会 主幹 高橋 香樹



鈴木静村 略歴

大正十二年（一九二三年）静岡県下田市に出生。県立豆陽中学（現下田北高）を経て東京府大泉師範（東京第三師範）、國學院大学卒業。田邊古邨先生に師事。松本洪先生に漢文受講。
文部省検定習字教科書・小学校編（秀英出版刊行）執筆。文部省習字教科書調査委員。書道同文会事務局長・理事長・参与・会長を歴任、現名誉会長。日本蘭亭会顧問。書道研究書苑会々長。書道叟幽会代表。静學舎代表。

書苑会略歴

- 昭和二十六年 一般毛筆部春季昇級試験かな部推薦合格
二十八年 学生書苑創刊号（二月号）より学生部審査員
三十三年 書苑審査員兼任
五十八年 学生書苑三六五号（六月号）にて主幹
五十九年 九月号より書話開始
六十二年 フランス・スイスにて「書字ふるさと」書道展開催
平成 四年 鈴木静村近作書展（八月十一日～十六日）書苑会後援
五年 第一回全国書苑の集い開催
六年 学生書苑五〇〇号記念誌上展（十一月号）
十五年 学生書苑六〇〇号記念書き初め誌上展（一月号）

鈴木静村先生は、主幹として二十八年、会長として十年の長きにわたる「書筵・学生書筵」の充実と発展に尽力されました。「書筵」と「学生書筵」の歴史は先生の歴史そのものといっても過言ではないと思われまゝです。先生の「書筵会」に対する気概の程は、より強く、より快く受け止め今日に至って居りました。ここ一年は、病氣療養中ではありませんでしたが、八月に伺った時はお元気なご様子でした。また一緒に審査が出来る日がくるのではと思っておりましたが、十一月十二日早朝、まさに信じられない悲報にただただ慟哭するばかりでした。

会長先生は「学生書筵」においても、長年にわたり書話で筆づかいの解説や書道のおけいこでの大切な心構えなど、みなさんが意欲的に学ぶためのアドバイスを丁寧^{ていねい}に執筆され、「夏に鍛えよう」、「古典に学ぼう」など新しい企画を実践してこられました。

みなさん、会長先生のご冥福をお祈りし、会長先生のお心におこたえするよう、これからはがんばり続けることを、しっかりと心にきざみましよう。

鈴木静村先生書



「心無累」(心配事がなく心安らかなこと)

— 高橋香樹 —

平成十五年 書筵会創立五十周年記念展(九月一日〜

三日) 於朝日生命ギャラリー

十七年 第十三回全国書筵の集い講演会講師(七

月十八日) 演題「書話」

七月より会長、主幹を兼任

学生書筵夏の課題「夏に鍛えよう」開始

(七月号)

二十二年

書筵会創立六十周年記念展 静村・香樹

近作二人展・学生展(七月十四〜十七日)

二十三年

学生古典臨書部門「古典を学ぼう」開始

(四月号)

二十四年

学生書筵七〇〇号記念誌上展(五月号)

二十五年

会長専任 一般部漢字かな交じりの書部

二十六年

門新設(一月号)

学生書筵指導者の会開催

学生書筵の集い「みんなて書を楽しもう」

二十七年

開催(三月二十九日)

第二十二回全国書筵の集い講演会講師

(七月二十一日)

演題「永年の歩み 書筵の漢字かな交じり書」

夏幽会 鈴木静村と十四人の書展(七月

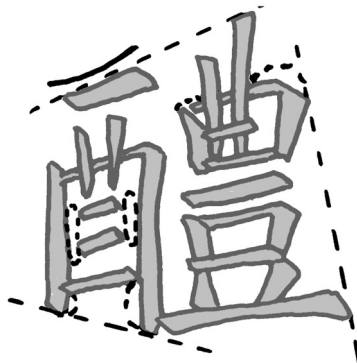
二十八日〜八月二日) 書筵会後援

古典に学ぶほう

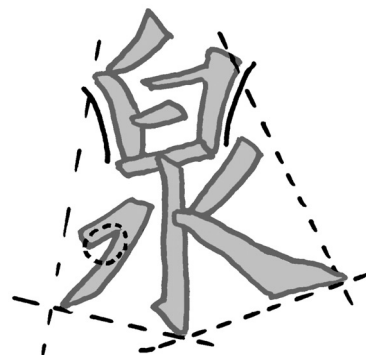
古典臨書課題

(二月二十二日締切)

校名



○○○○臨



清雅堂 九成宮醴泉銘

「醴泉」

高橋香樹

《学び方》

醴 西偏二画目少し上に反らし、二、三画目の縦画を太く、八画目の横画より下に出す。三、六、七、八の横画は細く、六、七画目は、二、三の縦画には接しない。四、五の縦画は三画目の横画より下に出す(拓本ではハッキリしないが)。旁の「豊」は二画目の転折で筆を突き、弾力を利用して引き上げる。三、四画の縦画は左に寄る。七画目の上下の余白は詰まるが、八画以下は大きく余白をとることにより明るくなる。

泉

二、三画目の縦画は背勢に。五画目の横画は二画目の縦画の横に出し、六画目の縦画は少し向勢か。七画目は○の部分詰まらないように。九画目の右払いがゆったりと。

【出品】 高校生、中学生 (一般部に編入した人も出品可)

【形式】 半紙たて書き

【締切】 1月22日 【出品料】 二二〇円

【発表】 学生書筵三月号

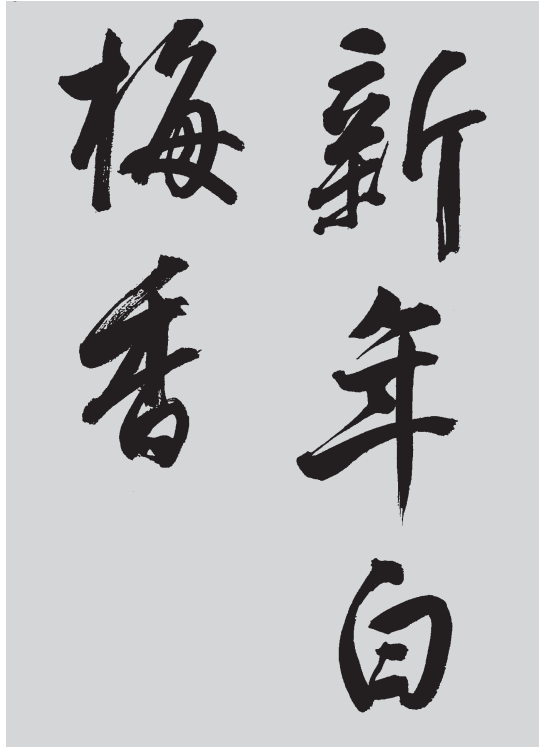
図のように、校名、氏名、「臨」を記入してください。(段級は記入せず)

校名 ○○○○臨

醴泉

「古典」と記入

高校漢字(行) 高塚竹堂先生書



学校名

段級

氏名

新年白梅香

中学漢字(行) 高橋香樹主幹書



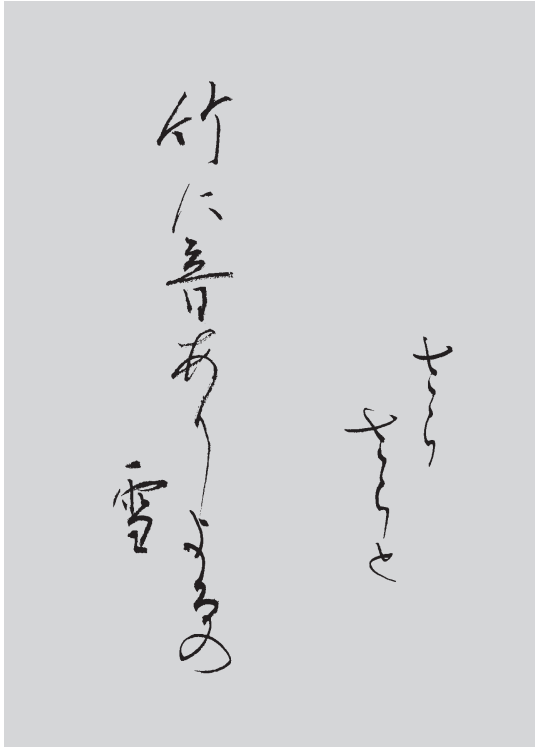
学校名

段級

氏名

※ 作品に校名、段級、氏名を書くこと。

高校かな 石原春香先生書



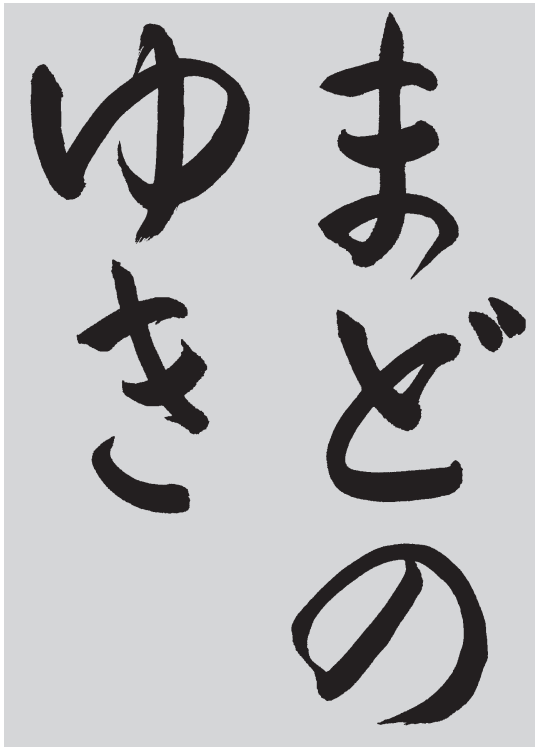
学校名

段級

氏名

さらさらと竹に音ありよるの雪（子規）

中学かな 青柳香竹先生書



学校名

段級

氏名

注意 1. 会員外の出品料は1作品につき240円。

小学五年 町田煌月先生書



学校名

段級

氏名

小学六年 町田煌月先生書



学校名

段級

氏名

小学三年 高橋紫芳先生書



学校名

段級

氏名

小学四年 高橋紫芳先生書



学校名

段級

氏名

注意 1. 会員外の出品料は1作品につき240円。

※ 作品に校名、段級、氏名を書くこと。

小学二年 高橋香樹主幹書

学校名

段級

氏名



硬筆競書課題手本（二月二十二日締切）

水貝潮華先生書

※高校・中学はペン又は万年筆、色は黒で書いてくだ

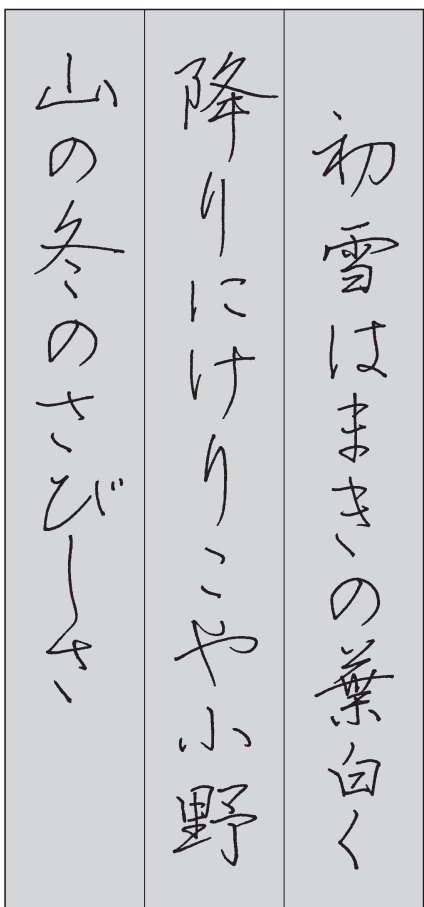
さい。（鉛筆・青インクは不可）

※小学生は鉛筆（2B〜4B）で書いて下さい。

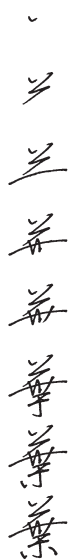
※消しゴムを使用せずに書いたものを提出して下さい。

※注意 会員外の出品料は1作品につき二四〇円。

高校・中学



筆順（行書）



（源 経信）

小学一年 高橋香樹主幹書

学校名

段級

氏名



※ 作品に校名、段級、氏名を書くこと。

